

◆ 今週のコメント (感染地域、感染経路については推定を含みます。)

- ・ 日本紅斑熱の報告が1例(女性, 70歳代)あり, 京都市では「感染症法」が施行された平成11年4月以降, 平成23年, 平成27年, 平成29年に次ぐ4例目の報告となっています。
- ・ レジオネラ症の報告が1例(70歳代男性)あり, 症状は発熱, 意識障害, 肺炎です。感染地域は国内で, 感染経路は塵埃感染です。本年初めての報告です。
- ・ カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症の報告が1例(30歳代女性1例)あり, 本年の累積報告数は5例となりました。
- ・ 劇症型溶血性レンサ球菌感染症の報告が1例(60歳代女性)あり, 症状はショック, 肝不全, 腎不全, DIC, 軟部組織炎, 全身性紅斑性発疹です。本年の累積報告数は3例となりました。
- ・ 侵襲性肺炎球菌感染症の報告が5例(10歳未満男性, 20歳代男性, 70歳代男性, 50歳代女性, 80歳代女性各1例)(第3週, 第4週追加報告分含む)ありました。いずれも感染地域は国内です。本年の累積報告数は11例となりました。
- ・ 百日咳の報告が3例(10歳代女性2例, 60歳代女性1例)(第4週追加報告分含む)ありました。症状は持続する咳等です。感染地域は国内, 感染経路は不明です。本年の累積報告数は8例となりました。
- ・ 風しん(検査診断例)の報告が1例(40歳代男性)ありました。本年初めての報告です。

◆ 今週のトピックス:<インフルエンザ>

京都市のインフルエンザの定点当たり報告数は, 前週の45.29(3,125例)から37.22(2,568例)と減少に転じました。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- ・ 二類:結核 3例(肺結核 2例, その他結核 なし, 潜在性結核感染者1例)うち喀痰塗抹陽性 1例
【1月以降の累積報告数 23例(肺結核 6例, その他結核 5例, 潜在性結核感染者 12例)うち喀痰塗抹陽性 2例】
- ・ 四類:日本紅斑熱 1例【1月以降の累積報告数 1例】
- ・ 四類:レジオネラ症 1例【1月以降の累積報告数 1例】
- ・ 五類:カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 5例】
- ・ 五類:劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 3例】
- ・ 五類:侵襲性肺炎球菌感染症 5例【1月以降の累積報告数 11例】
- ・ 五類:百日咳 3例【1月以降の累積報告数 8例】
- ・ 五類:風しん(検査診断例) 1例【1月以降の累積報告数 1例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ ^a	インフルエンザ	37.22	2,568
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	6.56	282
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.65	71
	③ 伝染性紅斑	0.65	28
	④ 咽頭結膜熱	0.23	10
	⑤ 突発性発しん	0.21	9
眼科	流行性角結膜炎	0.10	1

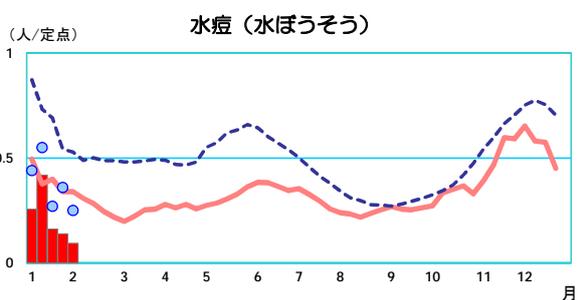
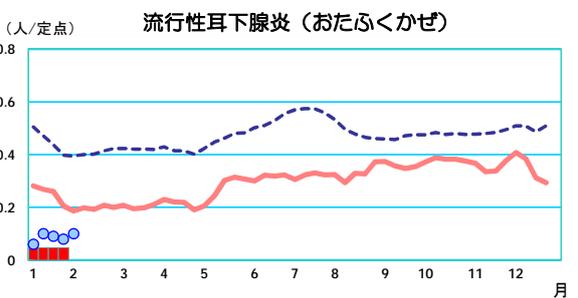
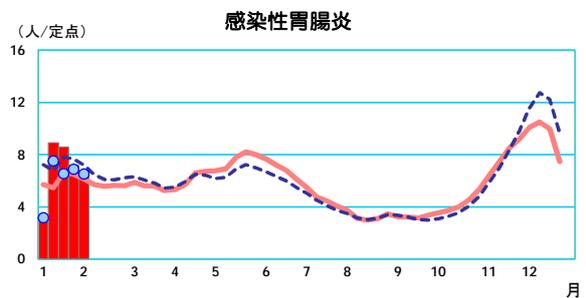
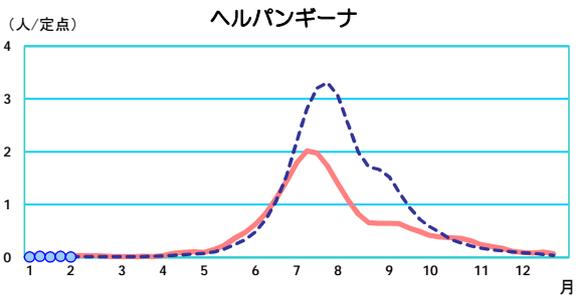
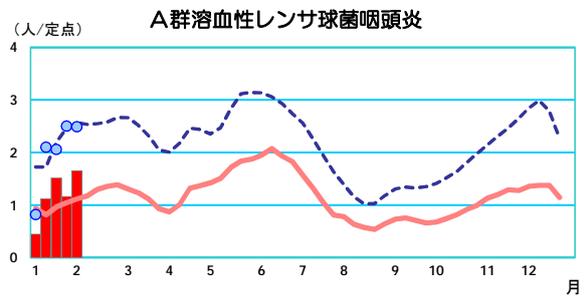
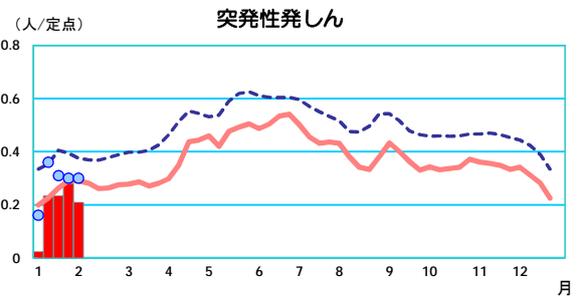
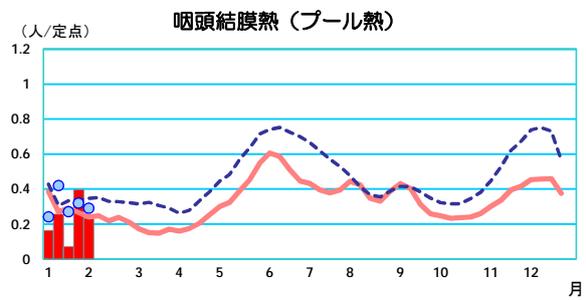
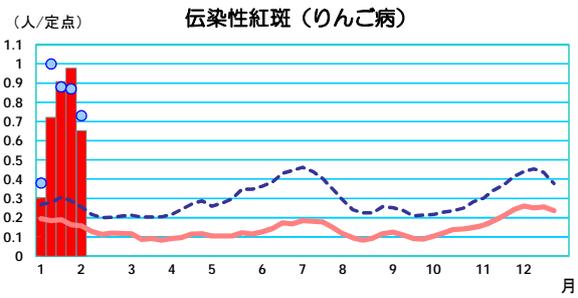
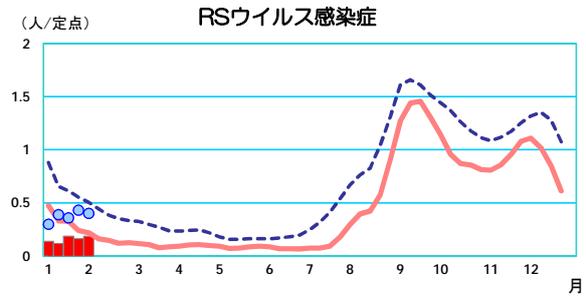
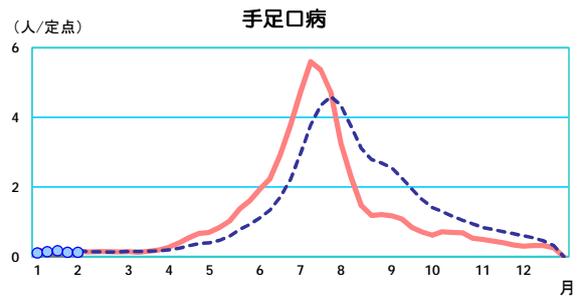
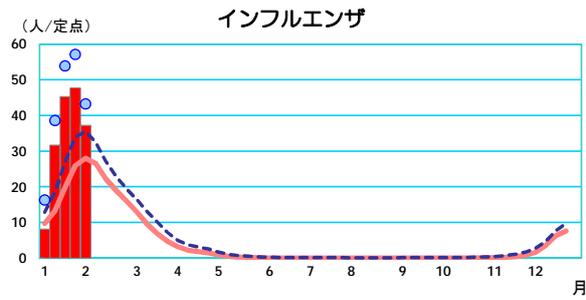
【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス:<インフルエンザ>

付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注)京都市のデータは, 2019年2月6日現在の報告数で, 全国の還元データと若干異なる場合があります。
また, 本情報での患者数は, 届出医療機関所在地での集計で, 患者の住所を示すものではありません。
* 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（2019年）



第5週(1月28日～2月3日)トピックス: <インフルエンザ>

京都市のインフルエンザの定点当たり報告数は、前週の45.29(3,125例)から37.22(2,568例)と減少に転じました。全国でも今週は前週の57.09から43.24に減少しました。しかしながら依然として警報レベルの指標である「30」を超えており、高い値で推移しています(図1)。今シーズンは全国で第49週に、また京都市では第51週に定点当たり報告数が流行入りの指標「1」を上回った後、報告数が急増し、ともに前週に1999年の感染症新法^{*}施行後最も高い値となりました。

第5週までに全国で検出されたインフルエンザウイルス型の週推移を見ると、B型は全体でも約1%に過ぎず、ほとんどがA型です。このA型の中でも第52週まではA(H1)pdm09型が60%以上を占めていましたが、1月に入り第1週からA(H3)型が徐々に増加し、現在ではA(H3)型が60%以上を占めています(図2)。今後のシーズン後半にかけては例年、B型の比率が増加する傾向があり、今後の比率の変化に注意が必要です。

京都市の過去5シーズン流行状況を見ると、例年、定点当たり報告数が注意報レベルの指標「10」を上回った後、1～5週間で流行のピークに達し、その後は「10」を下回るまで5～8週間と、報告数の多い状況が長く続いています(表1)。今シーズンもこれまでのところ、同様の傾向で推移していますので、今シーズンの今後の動向についても、3月ごろまで報告数が多い状態が続くと予想されます。体調管理に注意し、手洗いやうがいの励行、咳エチケットなど、感染予防と拡大防止を徹底しましょう。

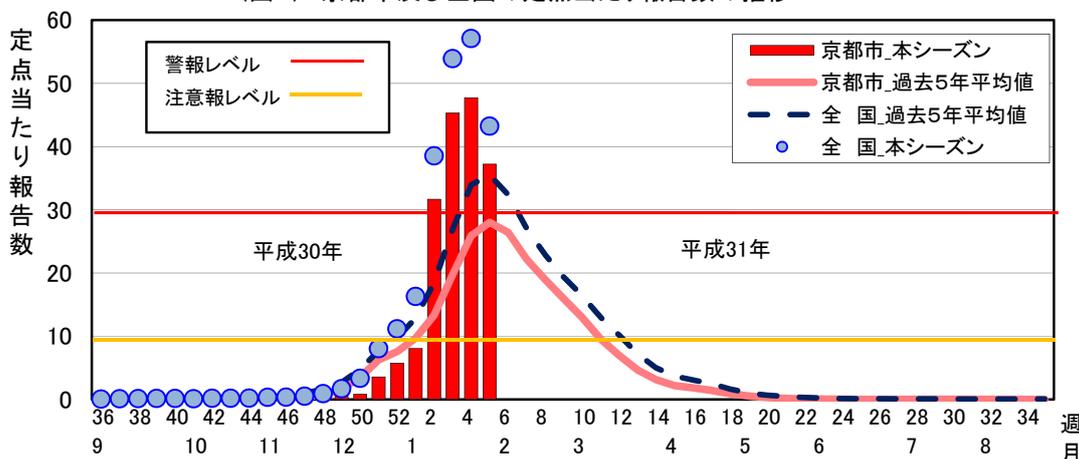
^{*}感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(平成11年4月1日施行)

インフルエンザの発生状況については、下記URLを御参照ください。

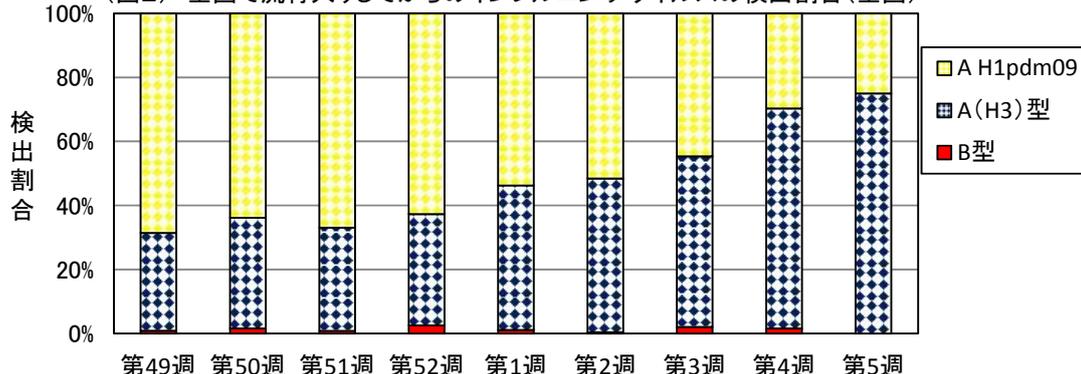
○インフルエンザの発生状況(衛生環境研究所ホームページ)

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000102856.html>

(図1) 京都市及び全国の定点当たり報告数の推移



(図2) 全国で流行入りしてからのインフルエンザウイルスの検出割合(全国)



(表1) 定点当たり報告数ピークの週から「10」を下回った週までの期間(京都市)

シーズン	H25/H26	H26/H27	H27/H28	H28/H29	H29/H30	H30/H31
「10」を上回った週	第3週	第51週	第4週	第2週	第52週	第2週
ピーク時の週	第5週	第52週	第7週	第4週	第5週	第4週
「10」を上回ってからピーク時までの期間	2週間	1週間	3週間	2週間	5週間	2週間
「10」を下回った週	第13週	第7週	第12週	第10週	第11週	
ピークから「10」を下回るまでの期間	8週間	7週間	5週間	6週間	6週間	

T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2019年第5週

疾病,行政区別報告数

2019年1月28日～2019年2月3日

データ入手日:2019年2月6日

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (※3)	感染性胃腸炎 (※4)	
男女合計																			
北	122	-	-	1	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	118	-	-	4	11	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	262	-	1	3	27	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中京	113	2	1	6	13	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	96	2	-	-	16	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	244	1	-	1	2	-	-	5	3	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
下京	70	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	334	-	-	11	29	-	2	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	396	1	4	26	53	1	-	5	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伏見	544	2	3	9	92	-	-	3	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
西京	269	-	1	10	32	2	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	2,568	8	10	71	282	4	2	28	9	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (※3)	感染性胃腸炎 (※4)	
男女合計																			
北	17.43	-	-	0.25	1.75	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	23.60	-	-	1.33	3.67	-	-	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	37.43	-	0.25	0.75	6.75	-	-	0.25	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中京	22.60	0.67	0.33	2.00	4.33	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	32.00	1.00	-	-	8.00	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	34.86	0.20	-	0.20	0.40	-	-	1.00	0.60	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-
下京	23.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	66.80	-	-	3.67	9.67	-	0.67	1.67	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	49.50	0.20	0.80	5.20	10.60	0.20	-	1.00	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伏見	49.45	0.29	0.43	1.29	13.14	-	-	0.43	0.43	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
西京	33.63	-	0.20	2.00	6.40	0.40	-	1.60	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	37.22	0.19	0.23	1.65	6.56	0.09	0.05	0.65	0.21	-	-	-	0.10	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2019年第5週

年齢階級, 疾病別報告数

2019年1月28日～2019年2月3日

データ入手日:2019年2月6日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
男女合計	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上							
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ (※1)	年齢1	2,568	10	37	107	133	142	135	159	139	159	122	119	371	100	122	196	175	107	86	84	65	
RSウイルス感染症	年齢3	8	3	1	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		10	-	-	3	1	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		71	-	-	3	3	5	8	9	9	8	6	5	10	-	5	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		282	4	18	41	32	27	28	14	20	19	13	2	32	4	28	-	-	-	-	-	-	-
水痘		4	-	-	-	-	1	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		2	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		28	-	-	1	1	2	4	8	6	4	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		9	-	2	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎 (※2)		年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎 (※3)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
男女合計	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上							
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ (※1)	年齢1	37.22	0.14	0.54	1.55	1.93	2.06	1.96	2.30	2.01	2.30	1.77	1.72	5.38	1.45	1.77	2.84	2.54	1.55	1.25	1.22	0.94	
RSウイルス感染症	年齢3	0.19	0.07	0.02	0.07	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		0.23	-	-	0.07	0.02	0.05	0.05	-	-	-	-	-	-	-	0.05	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.65	-	-	0.07	0.07	0.12	0.19	0.21	0.21	0.19	0.14	0.12	0.23	-	0.12	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		6.56	0.09	0.42	0.95	0.74	0.63	0.65	0.33	0.47	0.44	0.30	0.05	0.74	0.09	0.65	-	-	-	-	-	-	-
水痘		0.09	-	-	-	-	0.02	-	0.02	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		0.05	-	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		0.65	-	-	0.02	0.02	0.05	0.09	0.19	0.14	0.09	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.21	-	0.05	0.16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		0.10	-	-	-	-	-	-	-	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎 (※2)		年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎 (※3)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2019年第5週

週, 疾病別報告数

データ入手日:2019年2月6日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	458	559	2,185	3,125	3,292	2,568
RSウイルス感染症	16	6	5	8	7	8
咽頭結膜熱	23	7	11	3	17	10
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	45	19	48	65	50	71
感染性胃腸炎	303	130	383	369	308	282
水痘	21	11	18	7	6	4
手足口病	11	5	4	2	1	2
伝染性紅斑	27	13	31	39	42	28
突発性発しん	13	1	10	10	12	9
ヘルパンギーナ	2	1	1	-	2	-
流行性耳下腺炎	2	2	2	2	2	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	3	1	8	1	1	1
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合計	924	755	2,706	3,631	3,740	2,983

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	6.64	8.10	31.67	45.29	47.71	37.22
RSウイルス感染症	0.37	0.14	0.12	0.19	0.16	0.19
咽頭結膜熱	0.53	0.16	0.26	0.07	0.40	0.23
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.05	0.44	1.12	1.51	1.16	1.65
感染性胃腸炎	7.05	3.02	8.91	8.58	7.16	6.56
水痘	0.49	0.26	0.42	0.16	0.14	0.09
手足口病	0.26	0.12	0.09	0.05	0.02	0.05
伝染性紅斑	0.63	0.30	0.72	0.91	0.98	0.65
突発性発しん	0.30	0.02	0.23	0.23	0.28	0.21
ヘルパンギーナ	0.05	0.02	0.02	-	0.05	-
流行性耳下腺炎	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.30	0.10	0.80	0.10	0.10	0.10
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合計	17.71	12.74	44.40	57.13	58.21	46.95

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。